

三心を磨く

学校だより NO. 7
令和元年 6月 4日(火) 発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇「各種ボランティア」の皆さんにお世話になっています！◇◇

東中学校型「信州型コミュニティスクール」の活動として、4年前から「各種ボランティア」の皆さんに、本校の教育活動へご参加いただき、生徒のためにご尽力いただいています。

今年度も、多くのボランティアさんにご来校いただき、様々な教育活動が成り立っています。

今日はお世話になっている「各種ボランティアの皆さん」をご紹介しますと思います。

まず最初は「斜面ボランティア」の皆さんです。今年度は4月16日(水)よりが始まりました。毎週火曜日、AM10:00からAM12:00までの2時間、生徒たちの「斜面ノート」をしっかりと読み、コメントを書いてくださいます。

ボランティアの皆さんは現在6名。1冊1冊のノートを、じっくり時間をかけていねいに読み込み、文字の向こうの生徒たちの顔を感じとりながら、言葉を選んでいねいなコメントを書いてくださいます。「感想までしっかりと書ける生徒が増えてきましたね」「自分の考えをまとめられるようになっていきます」「雑な文字の生徒さんが減りましたね」「1年生の時より、感想が深くなっていきますね」などなど、毎週読み込んでくださっているからこそ、1年生からの姿をご存じだからこそのお話をいただきました。この姿が、とてもありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今、東三校(東地区の小中学校：仁礼小・豊丘小・東中)では、三校が連携して「斜面」に取り組んでいます。本校の職員が小学校へ出向き、中学校の様子や宿題などを紹介しながら、小学校から中学校へとしなやかに移行ができるようにしています。

4年目を迎えた「斜面」への取組には、「書くことを苦手とする生徒たちに、書く体験をさせたい」「文章の読み取りが苦手な生徒たちに、読解力や文章をまとめる力をつけさせたい」という私たちの願いがあります。本校ではこの取組を通して、生徒たちの読解力が確実に上がっています。

書くことは「基本」であり、自分の考えや感想をもつこと、まとめること、そして発表することは「求められている力」です。今年度もボランティアさんのお力をお借りして進めてまいります。

また、5月16日(木)には、コスモス街道ボランティアとして2名の皆さんがご協力くださり、さらに5月22日(水)からは「読み聞かせボランティア」が始まりました。現在は8名の皆さんが活動をしてくださっており、年10回、朝学習の1つとして「読み聞かせ」をしていただきます。

この他にも、地域の災害についてお話しいただいたり、地域体験講座でお世話になったり多くの方々にボランティアとして学校に入ってくださいませ。こうして地域の方々に支えられている東中学校、これからも様々なボランティアを募って行きますのでよろしく願いいたします。



◇第1回 PTA コスモス街道除草作業ありがとうございました！



5月25日(土)、今年度最初のPTAボランティア作業、「コスモス街道除草作業」行われました。今回は、6月6日(木)に行われる生徒たちの「定植作業」にむけて、コスモス街道の「除草作業」が中心となりました。コスモス街道は、最近の温かさや雨により、草の生育がよく、草丈も大分伸びていました。

そんな中、2学年の保護者様を中心とした、約40名を越える保護者の皆さんにお集まりいただき、午前7時半から作業をしていただきました。例年、保護者の皆様の作業効率は素晴らしく、今年も「あっ」という間に除草作業は完了いたしました。ありがとうございました。

近年における生徒減少の中、地域からの期待や生徒たちの誇りでもあるこのコスモス街道の活動を続けるには、PTAの皆様のご協力が不可欠となっています。本当に「おかげさま」であります。これで「苗の定植」ができそうです。ご協力、本当にありがとうございました。次回のPTAボランティア作業は、6月15日(土)が予定されています。作業内容は、生徒たちが苗の定植を済ませていますので、「チップ堆肥」を花壇の中にまく作業となります。保護者の皆様、今年度もご協力よろしくお願ひします。

◇縦割りチームによる話し合い活動、その名は「東ミーティング」



学年の枠を取り払い「コスモスチーム」「サルビアチーム」で行われている生徒会の縦割り活動、2年目の今年度はさらに進化し、「話し合い活動」でもその取組がされています。

5月27日(月)、第6校時の「生徒集会」において、サルビア・コスモスの各チームを、さらに9グループずつ、全18グループに細分化し、話し合いが始まりました。

リーダーはすべて3年生、各グループの班長的な役割を担い、話し合いを取り仕切ります。今回の論題は「アルミ缶収集に全校生徒が参加するためには、どんな工夫をしたらよいか？」でした。アルミ缶収集において、全校生徒の参加

率「100%」を達成させたいと願っている生徒会本部は、各クラスの取組や学級のもっているノウハウの情報を交換・共有することにより、それぞれのクラスの取組をさらに力強いものにしていこうと考えました。そのために、生徒による「話し合い」を使い、それぞれが自分の考えを「言い合う場」を設定し、学年やクラスの枠を取り払って進めて行く、『東ミーティング』をつくりました。今、生徒たちに求められている力は、自分の考えをしっかりと持ち、その考えを発信・プレゼンしていく力、話し合う中で友だちの提案も取り入れて折り合いをつけ、実行していく力です。いわゆる「活用する力」です。生徒会が取り組み始めた「東ミーティング」には、これらの力を伸ばしていく要素がたくさんあり、望ましい取り組みです。それが、生徒会の発想の中から出てきたことに大きな喜びと可能性を感じています。「東ミーティング」、回を重ねることに充実し、中身も研ぎ澄まされていくはずで

